

剽窃検出ツール iThenticate について

本学では、「博士学位論文提出のための指針」により、学位論文提出時には、学位論文における引用が適法な引用であることを確認するため、提出前に剽窃検出ツールの利用が強く推奨されています。剽窃検出ツールとして、iThenticateが推奨されており、実際の活用にあたっては指導教員と連携して活用することとなっております。

iThenticateの利用は年2回の登録制となっておりますので、大学院教務係にご相談ください。

iThenticateとは・・・

手作業では実現できない、広範囲で膨大な量の過去文献とあっという間に照合

iThenticateが照合を行うデータベースには、

- 学術雑誌掲載論文：6,000万件以上
- 学術出版社の出版物：1億1,400万件以上
- インターネットWebサイト：680億件以上

が格納されています。この膨大で広範囲な過去文献と、アップロードされた著作物との照合をたった数分で行い、結果をお知らせします。

これまでの手作業や記憶に頼る査読作業の負担を、大きく軽減します。